

令和2年度 芽室町総合保健医療福祉協議会

第4回 高齢者・介護部会

会 議 録

芽室町保健福祉課

第1 日時 令和3年1月20日(水)

第2 場所 保健福祉センター かしわホール

第3 出席者 15名 (委員8名、事務局7名)

傍聴者 なし

出席者名簿 : 出席…○ 欠席…×

【委員】

部会役職	所属団体等	職	氏名(敬称略)	出欠
部会長	十勝歯科医師会芽室歯科医会	副会長	家内 典夫	○
	公立芽室病院	院長	研谷 智	○
	芽室町国民健康保険運営協議会	会長	村上 哲也	○
	社会福祉法人 芽室町社会福祉協議会	会長	小椋 孝雄	○
	芽室消費者協会	副会長	野崎 美保子	○
	社会医療法人社団三草会 介護老人保健施設りらく	施設長	早苗 信隆	○
	社会福祉法人慧誠会 芽室けいせい苑	施設長	植松 哲子	○
	芽室町老人クラブ連合会	会長	矢野 征男	○
合計				8名

【事務局】

所属課等	職	氏名	出欠
保健福祉課	課長	大野 邦彦	○
〃	補佐	塚田 直子	○
〃 介護保険係	係長	林 宏明	○
〃 介護保険係	主査	高谷 真理子	○
〃 介護保険係	主事	永森 健太	○
〃 高齢者相談係	係長	杉山 真理子	○
〃 高齢者相談係	主査	柳澤 倫世	○
合計			7名

第4 開会

部会長挨拶

第5 実施内容

1 議題

(1) 地域密着型サービス運営委員会について…資料1

説明者 介護保険係

介護保険法に規定されている地域密着型サービスの運営について、新たに認知症対応型通所介護事業所の指定(1～2P)及び、条例の改正に基づく感染症対策を含む指定基準の改正について(3～8P)説明した。議長から1Pの各サービスの整備目標量の説明の求めがあり、説明を補足した。

【質疑】

質問1 委員

実際に事業者がいるから、目標量の設定をしているという解釈で良いか。

→回答 保健福祉課長

打診を受けている事業所があることは事実ですが、目標ということになりますので、必要性や実現性を踏まえ計画を策定しています。

質問2 委員

今までも同様の内容が言われてきているが、電子媒体の利用について、重要事項説明書や現在使用している書類すべてが変わることか。

→回答 介護保険係

詳細は今後周知していくことになるが、重要事項説明時に録音する形になるなど、紙媒体を減らす取り組みの一つです。

(2) 第8期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の原案の修正について…資料2

説明者 介護保険係

地域密着型サービス整備に伴う文言、サービス量見込み、給付費及び第8期介護保険料基準額の変更を中心に説明した。(第3章・第4章)

81P算定について、詳細の説明の求めがあり対応する。

→保健福祉課長

次年度以降の予算にもかかわる内容であり、今回提示している保険料基礎をもとに現在進行しています。

質問1 委員

介護施設の事業主体は民間であり、今後整備が必要になった場合に、民間の事業者の動向頼みになってしまうのか

→回答

実施主体としては事業者頼みにならざるを得ないが、近隣市町村の資源の活用、他のサービスで補うことも含めて町の計画を作成している。(課長)

質問2 現在通所介護事業所にも認知症の方が多い。(委員)

料金の関係で負担が大きく利用控えをする傾向があるが大丈夫か。(委員)

→回答

基本的に単価が異なり、通所介護よりは高い料金になることが見込まれる。(介護保険係)

一般的には療養型新型コロナウイルス感染症においても、認知症高齢者への対応についてスタッフの負担が大きいと言われており、専門的な知識や対応の手間があることは承知している。(保健福祉課長)

質問3 委員

一般の通所介護の中でも対応しているので、新たに認知症に限った事業所が必要なのか

→回答

町としては選択肢が増えるという捉えをしている (保健福祉課長)

質問4 委員

今回のサービス見込み量、給付額の推計はどのように行ったのか。

→回答 介護保険係長

サービス見込み量については開設の相談があったことを受け、具体的な事業計画・内容を聞き取り後に回数を試算したもの。

2 その他

(1) 第8期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画原案パブリックコメントの実施結果について

12月10日から1月12日まで実施し、結果は0件であったことを報告した。

説明者 高齢者相談係長

(2) 第8期計画にかかる今後のスケジュールについて

答申を実施する全体協議会の日程について再度確認を行った。

説明者 高齢者相談係長

————— 19時10分終了 —————